

ANIMA

生命のもつ”水っぽさ”を可視化する

山本 小百合



水袋たる生命

人は約60%が水で構成されている。それは犬も鳥も、魚も同様に、多くの生物はその大部分が水だ。水で出来ているからしなやかに動くことができ、水で出来ているから力に対して可変する。毛皮や皮膚、鱗に覆われ、一見そうは見えずとも、生き物はひとつづきの「水の袋」といえるのではないだろうか。

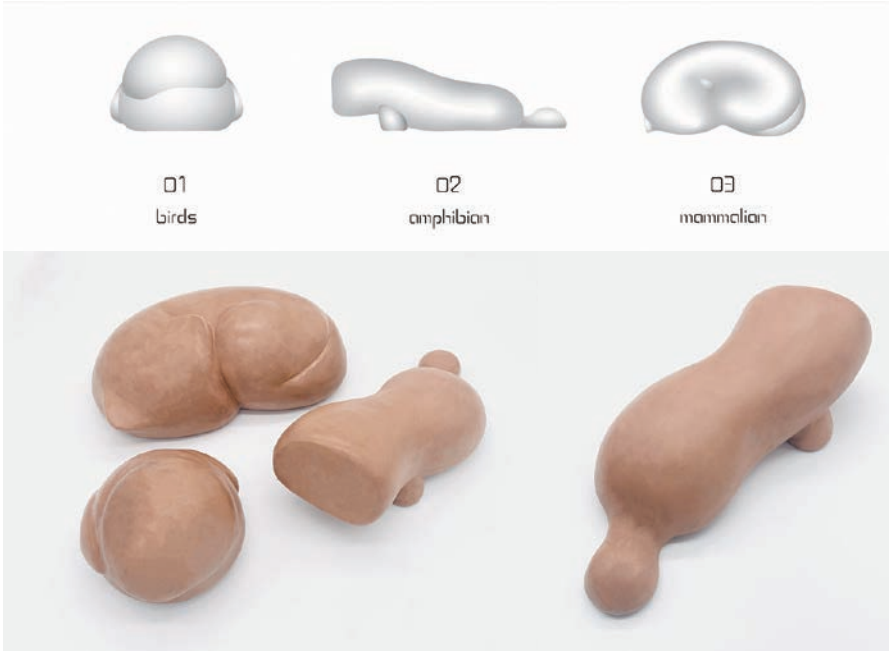
Life in a Bag of Water

Humans are 60% water. Dogs, birds, fish, and many other living things are primarily composed of water as well. Because we are made of water, we can accomplish flexible motions, and we have a variable response to applied force for the same reason. Although covered with fur, skin, and scales and seemingly invisible at first glance, living creatures can be considered "bags of water."

1



2



1 生命が普遍的にもつ”水っぽさ”
生物を水の塊のように造形するというアプローチで「生命感」について考えた。外皮であるシリコンの内部は水で満たされており、手で持ったり、押し込むことで特有の重さや触り心地を感じることができる。

2 原型モデル
インダストリアルクレイを用いた原型。水ととして生命を表現するにあたり、生物のフォルムを抽象的に抜き出す形を模索した。生物が手の中で落ち着き、静かに息づくような造形を目指した。